

東大野球部

New! メールマガジン Vol.10

ごあいさつ

10月も終わりに差し掛かり、本格的に冷たい風が肌を刺す季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？東大の秋季リーグ戦が終わり、四年生は引退してしまい少し寂しく感じております。来月からは新体制が発足するということで、また気持ちを入れ替えて頑張っていきたいと思えます。変わらぬご声援をよろしくお願い致します。

東大野球部 今後の予定

〈秋季リーグ戦〉

10月30日 早大 13:00 慶大
31日 慶大 13:00 早大

〈秋季新人戦〉

11月1日 ①:東大 10:00 法政
②:明大 12:30 早大

2日〈準決勝〉

③:②勝者 10:00 立大
④:慶大 12:30 ①勝者

3日 〈3位決定戦〉 ④敗者 10:00 ③敗者
〈決勝〉 ④勝者 12:30 ③勝者

卒部にあたって(第二回)

前田善博(投手)

この四年間は本当にあつあつ間でした。東大で野球がしたいと思い、受験勉強を始めたのがこの間のようです。卒部を前に東大野球部での生活を思い返してみると、さまざまな人の出会いがありました。部員をはじめ、OBの方、ファンの方、他大学の部員など、いろいろな価値観を持った人と触れ合えたことが、自分が生活していくうえで、刺激となることが非常に多かったです。自分という存在と同じくらい、周りの人の存在は大切なものでした。改めてこの部が環境で野球が出来たことを幸せに思います。この部に携わったすべての人に感謝しています。ありがとうございました。



山本和毅(学生コーチ)

この4年間、本当に充実した日々を過ごすことができました。信頼できる同期、頼もしい先輩、後輩に囲まれ、野球部での生活は本当に楽しいものでした。3年からは学生コーチとなり、選手として何もチームに残せなかったのは残念ではありますが、4年時はチームの中核としてあらゆる経験ができ、自分を信頼しこのような役割を自分に認められたチームメートの皆には本当に感謝しています。

しかし、やはり一番残るのは悔しさです。まだまだ自分がやらなきゃいけないことはたくさんあったし、一度も勝ち点を取ることでできなかった結果を考えると自分の甘さを痛感します。この悔しさは、来年、頼もしい後輩達が必要や晴らしてくれると信じています。

最後になりますが、チームメート、諸先輩方、ファンの皆様、そして遠い金沢から何度も神宮まで応援に来てくれた両親、祖父母、4年間支えて下さり、本当にありがとうございました。



揚場皓(投手)

いろいろな卒部を迫られました。何かした方がいいな箱かした方がいいな四年間でした。いい年をやり来れたのもいい思い出に思い出して来たい方々や、OBの方のおかげです。また後輩たちにも助けられました。来れました。本当に皆さんには感謝しています。有能な後輩たちが沢山いるので、今後の東大野球部は勝ち点をくれるチームになると思います。心から応援しています。最後に、関わってくれたすべての方に、ありがとうです。



安井優(学生コーチ)

皆さんには、4年の安井です。はじめての応援です。ファンのおかげで4年間ありがとうございました。

私は6年時より一塁コーチを務めていたのですが、特に一塁側ベンチの時はグラウンドに面したファンのおかげで声援に背中を押して頂いてくれるので、何度か勇気を頂きました。

私達は勝ち点を上げることもありますが、悔しいながらも卒部となりましたが、後輩達は一層の努力を重ねてきた神宮球場にやります。これからも東京大学野球部をよろしくお願いたします。



齋藤ひびみ(マネージャー)

野球部での生活は、たくさんの方々に支えられて4年間でした。

裏方に徹するマネージャー業は、楽しかったし、大変なこともあったけれど、それが全部、苦しいと思わなくなるチーム、チームメイトに恵まれたことをとても幸せに思います。

そして今は、お世話になった先輩方、互いに励まし合っていた六大学のマネージャーたち、神宮で私たちマネージャーにも暖かい声をかけて下さったファンの方々、野球部を通して出会った全ての皆様への、感謝の気持ちです。

東大野球部は、私たちが現役が想像する以上に、多くの方々によって支えられ、応援されているのだと強く感じました。

最後に、法政戦で私をベンチに入らせてくれた治くん、同期のみんな、本当にありがとう。

ベンチから見た神宮は、また一味違う素敵なものだった。



宮田拓也（内野手）

大学一年からサークルに入っていた自分は、もっと打ち込める何かをやるうと、二年次に東大硬式野球部の入部を決めました。部活らしさというものを感じ、厳しさも楽しさもサークルとは違うもので、とてもやりがいを感じました。野球のプレーヤーとして活躍したい、という思いを胸に、たくさんのごことを考え、工夫や努力をしたこの四年間は、自分に本当に多くのものを与えてくれたと思います。この環境を与えてくれた親や、部活の先輩仲間、そして何よりたくさんの方の前でプレーするチャンスをくれた 東京八大学野球」という舞台に感謝しています。いままでも本当にありがとうございました。



治正人（主務）

振り返ってみると辛かったことの方が多かった気がありますが、周囲の皆さんの支えがここまでやってこれたと思います。特に同期の皆さんには感謝しています。ありがとうございます。最終戦2死から代打宮田の神宮初ヒット。気合いで連投した前田。初登板を果たした福井。外スラを振らなくなった堀口…。多すぎても全員の記事まで書けませんが4年間の皆の成長に、身内ながら感動しました。皆にありがとう。



編集後記

四年生が卒部してしまい、四年生のいない球場で練習していると、四年生がいかに大きな存在だったかをしみじみと感じてしまいます。これからは四年生が担ってきたものを自分たちが背負うことになるという自覚を持って、励んでまいりたいと思います。今週末の早慶戦が終わると、新人戦が始まります。すこしでもいい結果を残せるように、頑張ってください。是非神宮球場に足をお運びください！

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5800

メールアドレス office@tokyo-hbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

